

生物マシンタイム実行にあたっての注意

量医研での共同利用研究員の登録、放射線作業従事者の登録および教育訓練の受講を、実験前に必ず済ませてください。これらの手続きが完了していないと実験室に入れません。

マシンタイムに関する事項

- ①**キャンセル、追加等マシンタイムに関する変更**は、原則として認められません。止むを得ない理由がある場合は、必ず理由を書いて、1週間前までにマシンタイム部会宛にご連絡ください。特に、理由不詳や直前通知のキャンセルはマシンタイム取消等のペナルティを課せられることがあります。
- ②マシンタイムは原則としてスケジュール通りに行います。配分されたマシンタイムは、（遮蔽扉前実験台での照射前後の準備を含む）コース占有時間です。終了時間は厳守してください。
- ③マシンの都合でスケジュールに30分以上の遅れが生じる場合はオペレーターから連絡します。実験当日に連絡がとれるようにしてください。
- ④C290 以外のビームの線量測定は、10 cmΦ mono 条件のみ（但しFe200 mono は7 cmΦ程度）当方で行います。それ以外の線量測定を必要とする場合は、ご自分のマシンタイムの中で行ってください。

実験に関する事項

- ⑤ビーム飛程の終点付近は、わずかのずれで線量およびLET 値が大きく変化します。終点付近での実験は自己責任で行ってください。
- ⑥照射時にはオペレーターがお手伝いしますが、照射条件（SOBP か MONO か、コリメーター（照射野）、サンプルチェンジャーの移動距離、バイナリーフィルター（BF）、線量等）は必ず実験者の責任で確認してください。
- ⑦照射後のサンプルを管理区域外に搬出するときは、サーベイメーターでBGレベルになったのを確認してからにしてください。その際、「搬出物品汚染検査記録」への記載をお願いします。

生物実験に関わる書類

- ⑧「**ビーム使用計画書**」（照射計画書）は調整の都合上、**前日（月の場合は金曜日、休日の場合は前々日）15時まで**に提出してください。記載内容について不明な点を質問する場合がありますので、必ず実験担当者の連絡先を記入してください。（実験当日に連絡がとれるようにしてください。）
- ⑨書式はホームページからダウンロードして**最新版**をお使いください。特にビーム使用計画書と設備要望書には計算式が組み込んでありますので、ホームページからダウンロードしてコンピューター上で御記入の上、メールの添付文書でご提出ください。
- ⑩**設備要望書**は、実験1回ごとに使用開始日の2週間前までに提出してください。場所が狭いので、実験終了後はその都度片づけてください。消耗品の提供は原則行いません。
- ⑪書式により提出先が異なりますのでご注意ください。量医研の規定・運用ルールを守れない方は、ペナルティを課せられることがあります。
- ◎ 共同利用研究生物実験について、疑問・不明な点がございましたら、生物実験世話人（下川卓志）にお問合せください。（e-mail: himac_bio@qst.go.jp）

2 4 - II 期用

必要書類概要（生物実験に直接関わるもののみ）

書類・手続き	対象者	締切	宛先	備考
ビーム使用計画書	全員	前日 15 時 (月の場合は 金曜日、休日 の場合は前々 日)	生物実験世話人 himac_bio@qst.go.jp	Excel 書式有り、最新版をお使いください。書き込み禁止セルは変更しないでください。実験日に実験担当者に連絡がつくようにしてください。
設備使用要望書	希望者	2週間前 (実験ごと)	生物実験世話人 himac_bio@qst.go.jp	Excel 書式有り、最新版をお使いください。 <u>クリーンベンチ、CO₂ インキュベーター</u> の使用希望がある場合は、必ず提出してください。
動物搬入確認書	動物使用者	希望搬入日の 1ヶ月前	生物資源管理課 日裏 剛基 hiura.koki@qst.go.jp	飼育器材の準備がありますので、必ず提出してください。また動物飼育期間、動物搬出日を変更したい場合は、必ず事前に相談してください。
重粒子線棟 生物実験室 利用申込書	希望者	使用の2週間 前	生物実験世話人 himac_bio@qst.go.jp	当該実験室は常時施錠しています。利用希望日時のみ解錠するので詳しく記入してください。
マシンタイム キャンセル要 望書	希望者	できるだけ早く	生物実験世話人 気付 マシンタイム部会 himac_bio@qst.go.jp	理由を書いてください。直前のキャンセルはペナルティを課される可能性が有ります。